

平成30年度

単位施策評価表

所属 19300000
生活環境部 環境課

施策	1102 循環型社会の形成							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
施策が目指す姿	環境保全に対する市民意識の醸成、日常生活におけるリサイクル活動、マイバッグ運動の推進等を図る。							
成果指標	①市民一人当たりごみ収集量(1日)… 5年間で521gへ圧縮(現状値565g/日) 単位g/日 ②リサイクルされた資源物量…5年間で6,700tへ増加(現状値6,560t)							
目標達成状況			平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標1 []	予定	556.00	547.00	538.00	529.00	521.00	
		実績	565.60					
	成果指標2 [t]	予定	6,588.00	6,616.00	6,644.00	6,672.00	6,700.00	
		実績	6,074.56					
		単位コスト	99.99					
	成果指標3 []	予定						
		実績						
		単位コスト						
	成果指標4 []	予定						
		実績						
		単位コスト						
	トータルコスト (千円)	予定	617,884	618,659	617,744	0	0	
		実績	607,399	618,659	617,744	0	0	
内部評価	貢献度	本施策の目標を達成することにより基本施策の環境保全に取り組む市民の増加に大きく貢献すると考えられる。						
	達成状況	本施策の成果指標は市民のごみ減量化が進まず、また紙類や集団回収の実績が減少したことから未達成であった。						
	課題	ごみ減量化に向けた新たな施策が必要である。また資源物については集団回収の実施についてより一層の周知を図る。						
	取組方針	ごみ減量化に関する市民意識の向上を図り、ごみと資源を分別しリサイクルを推進する事業に取り組む。						
外部評価	指標でみると、「市民一人当たり1日のごみ収集量」が目標値556gに対し、565.6gと上回っているとの報告を受けた。この原因の一つとして、資源ごみの徹底がされていないように思われる。特に、紙ごみについて、燃えるゴミと一緒に出されている家庭が多いように思われるので、周知及び徹底をお願いしたい。紙ごみ用を入れる、紙袋を一度家庭に配布することも施策として必要ではないか。そうすることにより、資源ごみの徹底も図られ、全体的には、市の収入も増えると思われる。 「リサイクルされた資源物量」についても目標値を下回っているとの報告であったが、近年では、スーパーなどでのリサイクルや新聞業者なども回収などを行っているため、市全体としてのリサイクルの意識は高まっていると思われる。先ほどの紙ごみの徹底を図れば、この数値も改善されると思われる。							
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	151101	バイオ式生ごみ処理機管理費				1,030	100	
	151201	生ごみ減量化補助金				995	100	
	151301	資源物回収活動団体支援事業費				5,986	100	
	151501	マイバッグ持参運動事業費				881	100	
	155501	ごみ収集事業費				598,507	100	

単位施策評価表 補表

施策	1102 循環型社会の形成																												
区分	妥当性	妥当	循環型社会の形成についての評価は妥当である。																										
	コスト削減の余地	有	事業の集約や見直しなどによりコスト削減の余地がある。																										
	受益者負担	適正	受益者負担はないため適正である。																										
	上位貢献度	有効	基本施策の成果指標達成には貢献度は高い。																										
	類似事業の有無	無	リサイクル活動や循環型社会形成に類似事業はない																										
	成果向上の余地	有	今後適切に事業を行うことで、循環型社会の形成の推進が見込まれる。																										
内部評価	貢献度	本施策の目標を達成することにより基本施策の環境保全に取り組む市民の増加に大きく貢献すると考えられる。																											
	達成状況	本施策の成果指標は市民のごみ減量化が進まず、また紙類や集団回収の実績が減少したことから未達成であった。 ①市民一人当たりごみ収集量(1日) <table><tr><td>年 度</td><td>H26年度</td><td>H27年度</td><td>H28年度</td><td>H29年度</td><td>H30年度</td></tr><tr><td>収集量</td><td>553.7g</td><td>586.0g</td><td>565.1g</td><td>566.3g</td><td>565.6g</td></tr></table> ②リサイクルされた資源物量 <table><tr><td>年 度</td><td>H26年度</td><td>H27年度</td><td>H28年度</td><td>H29年度</td><td>H30年度</td></tr><tr><td>収集量</td><td>7,031.20t</td><td>6,679.82t</td><td>6,428.90t</td><td>6,208.11t</td><td>6,074.56t</td></tr></table>				年 度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	収集量	553.7g	586.0g	565.1g	566.3g	565.6g	年 度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	収集量	7,031.20t	6,679.82t	6,428.90t	6,208.11t	6,074.56t
	年 度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度																							
	収集量	553.7g	586.0g	565.1g	566.3g	565.6g																							
年 度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度																								
収集量	7,031.20t	6,679.82t	6,428.90t	6,208.11t	6,074.56t																								
課題	ごみ減量化に向けた新たな施策が必要である。また資源物については集団回収の実施についてより一層の周知を図る。																												
取組方針	ごみ減量化に関する市民意識の向上を図り、ごみと資源を分別しリサイクルを推進する事業に取り組む。																												